

GUIDER ZERO

Version 2.5.2.0

改良内容のご紹介



本書では代表的な改良内容をご紹介します。

その他の改良内容につきましては、別紙「アップデート一覧」を合わせてご覧ください。

また機能の詳細につきましては、ソフトウェアご利用中の F1 キーやメニュー [ヘルプ] からヘルプを参照してください。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です

このソフトウェアは Apache 2.0 ライセンスで配布されている製作物が含まれています <https://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

はじめに

いつも弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

GUIDER ZERO の最新バージョン Version 2.5.2.0 の改良内容をご紹介します。

このバージョンの概要

作業規程の準則（令和 5 年 3 月）に対応

国土地理院では、公共測量における標準的な作業方法等を定め、その規格を統一するとともに、必要な精度を確保することを目的に「作業規程の準則」を定めています。

このたび近年の新しい測量技術の普及状況等を踏まえ、3年ぶりに作業規程の準則の一部が改正されました。これを受けて「現況属性設定」に作業規程の準則（令和 5 年版）の設定を追加しました。

観測現況展開の距離補正

観測データファイル (*.35) を読み込んで現況データへ展開するときに、観測データファイル内の補正情報を参照して「距離補正」を行う機能を追加しました。補正情報を加えて算出した現況データを展開できます。

現況属性表設定の外部保存/呼出

「現況属性表設定」に登録している表（グループ）単位で外部保存/呼出できる機能を追加しました。表（グループ）単位で登録されている現況属性設定と、利用しているパーツファイルも同時に外部保存/呼出できます。後から追加した観測コード等を差分でやり取りできるようになります。

各種観測の到着点指定

各種属性観測時に到着点を観測することなく、画面上で指定して属性データを確定する「到着点指定」機能を追加しました。既に存在する現況データに接続する場合などに利用でき、より柔軟に属性観測を行えます。

その他改良

各種観測や CAD 作図/編集に関する機能改良を行いました。ぜひ、ご利用ください。

なお、本書では代表的な改良内容をご紹介します。

GUIDER ZERO Ver.2.5.2.0 のその他内容につきましては、別紙「アップデート一覧」を合わせてご覧ください。

目次

はじめに.....	- 3 -
このバージョンの概要.....	- 3 -
目次	- 4 -
機能改良のご紹介 GUIDER ZERO 基本機能.....	- 5 -
作業規程の準則（令和 5 年 3 月）に対応	- 5 -
観測現況展開の距離補正対応	- 6 -
現況属性表設定の外部保存/呼出	- 7 -
各種観測の到着点指定	- 8 -
機能改良のご紹介 CAD 作図・CAD 編集	- 9 -
矩形作図	- 9 -
問合せ - 交点	- 9 -
文字列	- 9 -
要素変換	- 9 -
ご注意.....	- 10 -
● 動作環境について	- 10 -
● データの互換性について.....	- 10 -
● 標準ユーザー権限での利用について	- 10 -

作業規程の準則（令和5年3月）に対応

UP 基本機能

「作業規程の準則」の一部が改正されました。

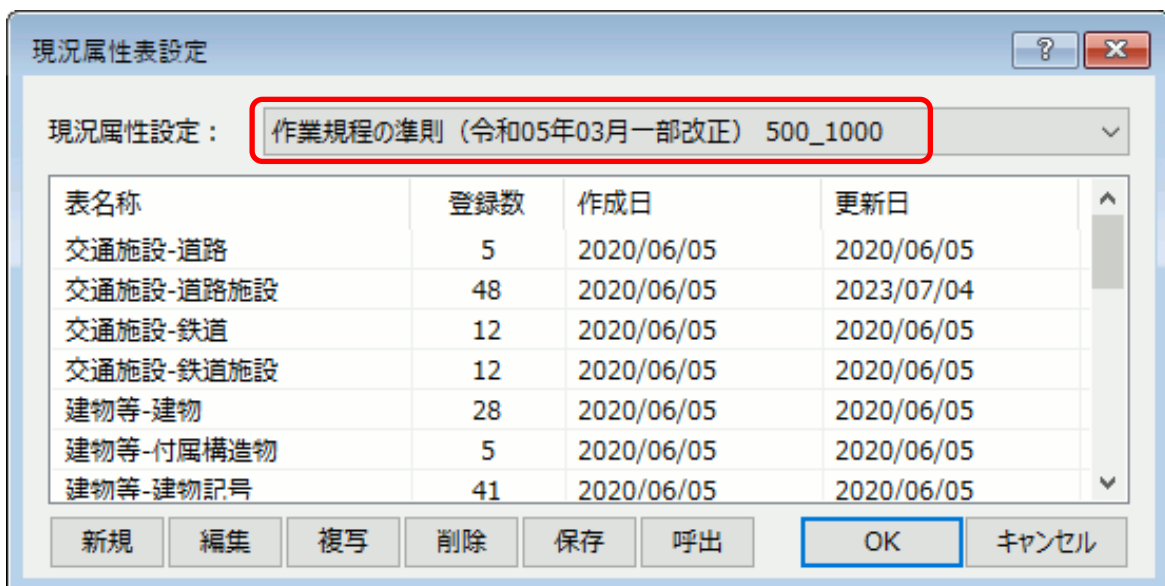
これを受けて「現況属性設定」に以下の設定を追加しました。

- ・作業規程の準則（令和05年03月一部改正）500_1000



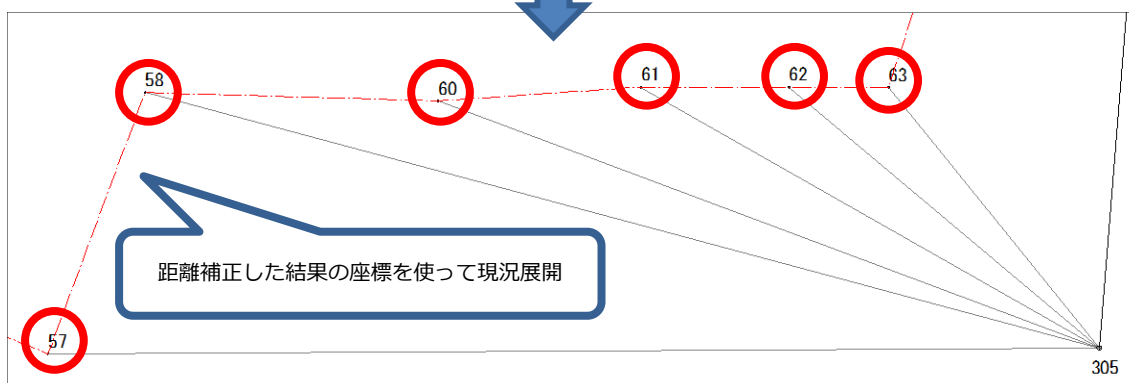
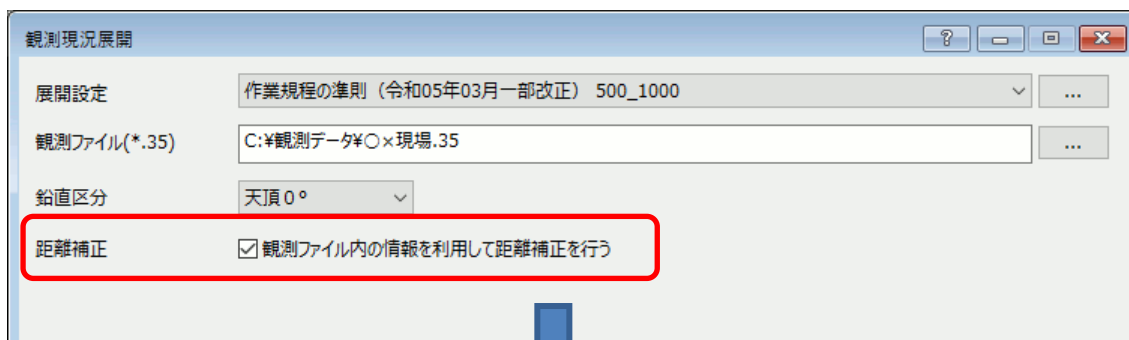
新たな分類番号「2237：側溝 管渠型」を追加し、登録名称を調整しました。

あわせて「現況属性表設定」の内容も更新しています。



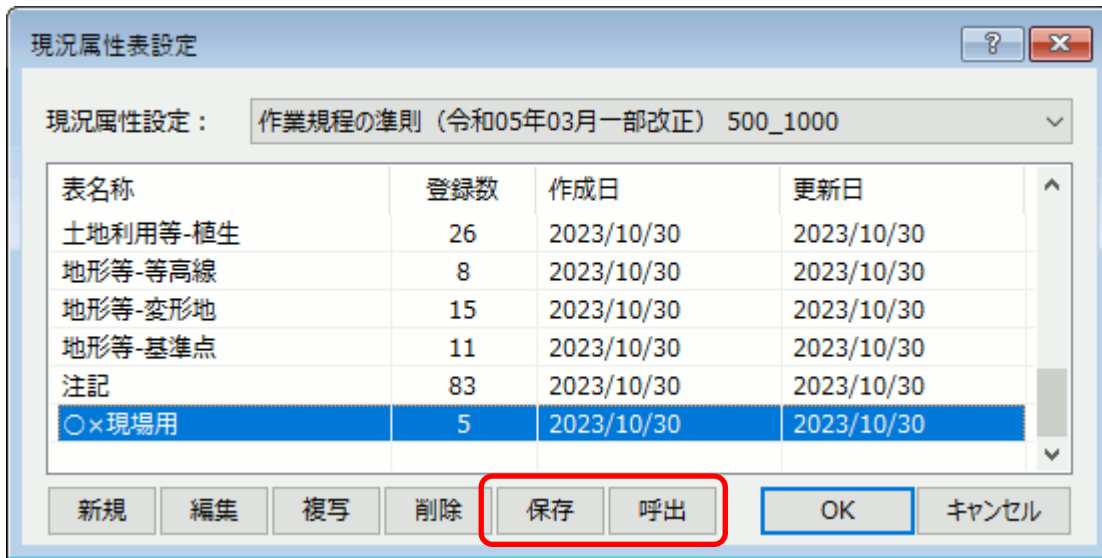
観測データファイル (*.35) を読み込んで現況データへ展開するときに、観測データファイル内の補正情報を参照して「距離補正」を行う機能を追加しました。

TS 単体で観測する際に距離補正設定「縮尺補正を行う」「投影補正を行う」を有効にしていた場合、出力した観測データファイルには「縮尺係数」や「標高値」が登録されます。観測現況展開コマンドでは、この2つの情報を使って距離補正（縮尺補正/投影補正）を行います。



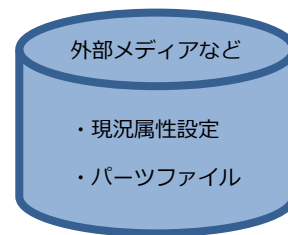
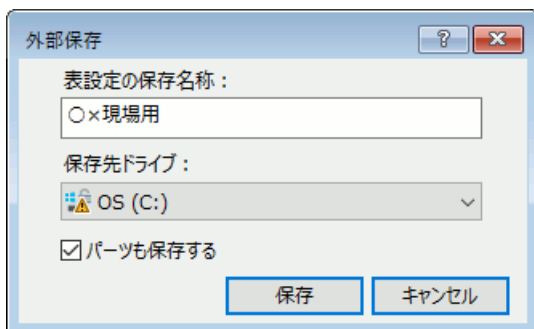
従来の展開と比べて、さらに補正情報を加えて算出した現況データを図面上に展開します。

「現況属性表設定」に登録している表（グループ）単位で外部保存/呼出できる機能を追加しました。
 表（グループ）に登録している複数の観測コードと、それぞれが利用しているパーツファイルも同時に外部保存/呼出できます。



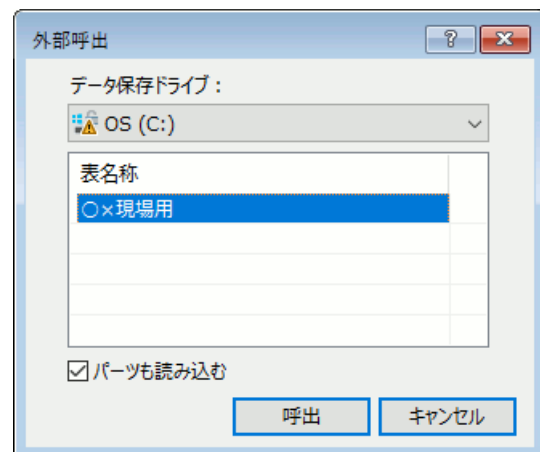
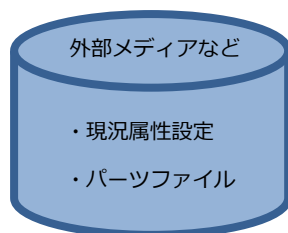
■保存

外部メディアなどにデータ保存します。



■呼出

外部メディアなどに保存したデータを呼び出します。



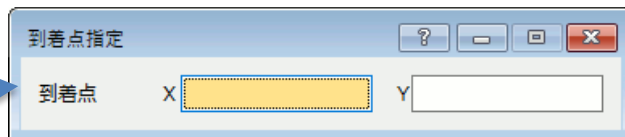
属性観測時に到着点を観測することなく、画面上で指定して属性データを確定する機能を追加しました。



同じボタン内でアイコンが切り替わります。

: 出発点指定 (既存機能)

: 到着点指定 (新機能)



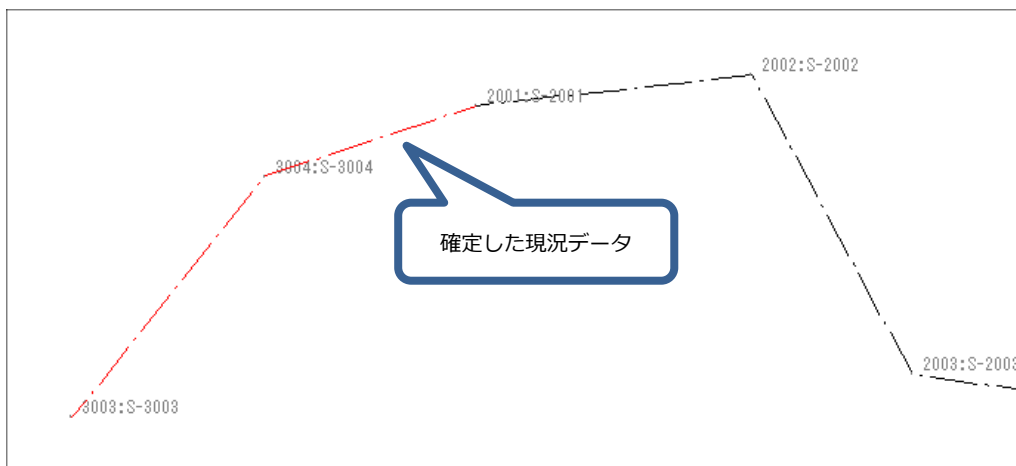
: 出発点/到着点指定のカーソル

※上画面は TS 観測。GNSS 観測や NMEA 観測でも同様の場所にボタンを配置しています

既に存在する現況データに接続する場合などに利用できます。



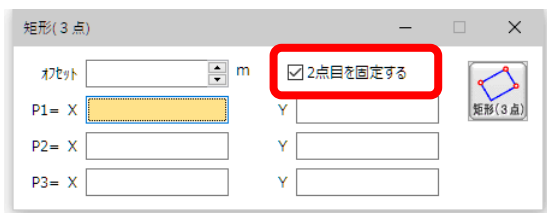
※「到着点指定」を起動して接続したい現況データの端点をタップ



※タップした現況データの端点を最終点として観測中の現況データを確定します

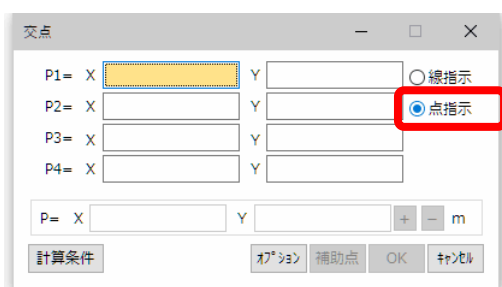
※GNSS 観測や NMEA 観測でも同様の操作となります

矩形作図



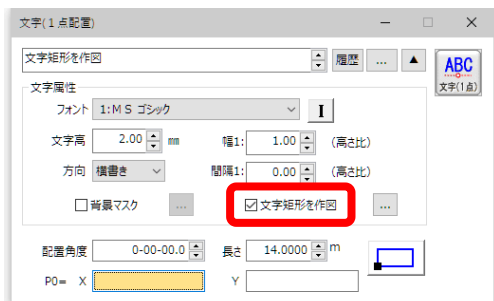
3点モードで2点目を固定して矩形を作図する機能を追加しました。

問合せ - 交点



4点を指定して交点計算を行う機能を追加しました。

文字列



「文字矩形を作図」の設定に従って、矩形をVO表示する機能を追加しました。

文字矩形を作図

要素変換



変換先にパーツを指定する変換方法で、図形からパーツの情報を取得する「スポイト」機能を追加しました。

ご注意

● 動作環境について

GUIDER ZERO Version 2.5.2.0の動作環境は、以下の通りです。

OS	Windows 11 / Windows 10 ※一部機能は Windows10 以降
CPU, メモリ	各 OS が、推奨するスペック以上
HD 空き容量	1GB 以上
解像度, 色数	1,024×768 以上 (1,280×1,024 以上推奨) / 16,777,216 色 (24bit)

64bit OS は、32bit 互換モード(WOW64)での動作となります。

仮想 OS 上での動作は保証いたしません。

Windows 10 では「タブレットモード」ではなく「デスクトップモード」でご利用ください。

本書提供時の最新バージョンは「TOWISE Version 6.5.2.0」および「GUIDER ZERO Version 2.5.2.0」です。

● データの互換性について

本バージョンでは、図面データ構造拡張は行っておりません。

● 標準ユーザー権限での利用について

標準ユーザー権限でご利用際は、以下の点にご注意下さい。

- ◆ インストールには管理者権限が必要です
- ◆ 一部の機能の実行には管理者権限が必要です※

※ 管理者権限が必要な機能：

ライセンスモニターのプログラム管理情報の更新

Trimble ライセンス認証



改良内容のご紹介

